

一般質問 (5)、視察報告、中学校給食視察、会議の開催状況

思いやりの気持ちを持って その気持ちを行為に

小峰 和美 (みんな)

意見 「こころ」はだれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思いやり」はだれにでも見える。これは宮澤章二さんの詩の一部である。思いやりの気持ちを持っていても、なかなか行動に移すことは難しい。しかし、その美しい気持ちは行為になって初めて意味があることに気づいてもらいたい。市長の行為はどこにあるのですか。

質問 東日本大震災で市内に避難する被災者、特に乳幼児への支援は。
答弁 住民登録を西東京市に異動しなくても幼稚園就園に際して補助が受けられるように、補助要綱を改正して速やかに対応する。
質問 市民の安全・安心を第一に考え、線量計を使って放射線量を測定し、風評被害に対応すべきだ。
答弁 現時点では東京都が公表する測定値をもとに冷静に対応する。東京都から空間放射線量の測定の拡充に関する通知があった。測定場所等については、後日開催される東京都の説明会後に検討する。
質問 お役所用語の撤廃について。横文字等を使って難しくする必要はない。
答弁 指摘の部分も踏まえ、なるべくわかりやすい日本語の使用を心がけていく。

関東ローム層上にある地震に強い西東京市、 市内外へPR強化を!

坂井 かずひこ (民主)

質問 西東京市における財政面での震災の影響は。
答弁 具体的な影響はまだ把握できていない。しかし、主要な一般財源である法人市民税に関して震災の影響が懸念される。今後の動向を注視していく。
質問 今回の震災で、一部の公共施設で被害が生じた。従来の計画以上に耐震化を進める必要があると考えるが、市長の見解は。
答弁 公共施設は、災害時の活動拠点施設として耐震性の確保が求められる。既に小中学校については耐震化が完了している。保育園、図書館等、その他公共施設についても、平成27年まで

に耐震化率100%となるよう耐震改修促進計画を積極的に進めている。
質問 液状化に強いと言われる西東京市の魅力あるまちづくりについて、市内外へのPRを強化し、転入者を増加させる取り組みはできないか。
答弁 市外へのPR活動は重要なことと考えている。従来からホームページの充実や市勢要覧で本市の魅力を紹介している。今後もメディアや機会を利用してPRしていきたい。

文教厚生 委員 厚生 視察報告

中原小学校で知的障害学級と情緒障害学級(固定級)を、谷戸小学校で情緒障害通級学級を、そして、田無第二中学校で情緒障害通級学級を、7月7日にそれぞれ視察しました。

実際に児童・生徒を指導している様子、さらに、通級と固定級の違い、通級の場合は在籍校と通級のかかわり方などを視察しました。課題として、対象人数が増加傾向の中、固定級・通級ともに設置が追いついていない点、中学校通級が市内に1校のみで、ニーズにこたえ切れていない点、また、中原小学校の固定の情緒障害学級の位置づけがあまりで、新たなニーズに対応できていない点などが認識できました。

中学校給食の実施状況を視察

6月30日及び7月6日に中学校給食の実施状況について、視察を行いました。中学校給食の完全実施は、今年度を第一期とし、市内



視察当日の給食 (明保中)

3つの中学校で5月20日から開始され、来年度(第二期)は残る6校で実施されます。市内小学校の給食室を使用して調理・配送を行い、調理を行う小学校(親)、給食の提供を受ける中学校(子)の組み合わせにより給食を実施することから「親子方式」と呼んでいます。視察当日は小学校での配送準備を視察した後、中学校へ移動し、給食が教室まで届き、配膳するまでの様子等を視察しました。

会議の開催状況 (平成23年4月～6月)

- 4月 13日 議会報編集委員会
- 5月 23日 企画総務委員会
31日 議会運営委員会
- 6月 3日 第2回定例会・本会議(議案等上程)付託、議会運営委員会、予算特別委員会(正副委員長互選・理事会)、議会報編集委員会
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 文教厚生委員会、建設環境委員会
- 13日 企画総務委員会
- 14日 駅周辺再開発等特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 文教厚生委員会、建設環境委員会
- 22日 議会運営委員会、本会議(委員会審査報告、議員提出議案上程)議決)

東日本大震災 被災地支援と 市内で新たに防災対策を!

石塚 真知子 (民主)

質問 被災地に派遣した職員「声」をどのようにフイードバックしていくのか。
答弁 非常に重要なことだと考える。現地での経験を地域防災計画に基づく災害対応態勢の点検・見直しに反映し、被災地のニーズに

合わせた対応をしていく。
質問 震災発生後、多くの帰宅困難者が出た。周辺に公共施設がない東伏見駅では、今後どう対応するのか。
答弁 早稲田大学東伏見運動場が「一時(いつとき)避難場所」に指定されている。今後、建物部分も含めた防災対策への協力についての協議を検討する。
質問 今回の震災でおおるの重要性を強く感じたが、市内でも震災を踏まえた協定を結ぶのはどうか。
答弁 利用形態等の内容を含め、調査・研究していく。
質問 ひとり親家庭の支援策について、どのような支援策があり、その取り組みは。



被災地で活動中の市職員

用語の解説

※フイフイフイフイフイ

ドイツにおいて始まった仕組みで、公立学校において、児童・生徒・教職員が省エネ活動をを行い、節減できた光熱費のうち、半分をその学校に還元すること。

※災害時要援護者登録制度

災害時に自力での避難が困難な方などについて、その名簿をあらかじめ市内の災害時の支援を行う組織に提供することにより、支援が必要な方の安全を確保する態勢を整備する制度。

